

私たちの仕事は、特別な日を創ることです

CERESPO

NEWS

vol. 107 September 2018

セレスポ
セレスポ・ニュース
平成30年9月発行
第107号

「町を造る人を創る。」
日本の「ど真ん中」が
目指すのは世界文化!

第20回につぼんど真ん中祭り



セレスポ
Pick Up

2018 昭和記念公園
トライアスロンフェスティバル
オールキッズトライアスロン大会
企業ボランティアに参加しました!

「すべての観客を踊らせたかった！」
5人の大学生が始めたお祭りが
220万人以上を巻き込んだ！

—につぽんど真ん中祭りの初開催からこれまでの経緯をうかがえますか。

白山さん：「どまつり」は名古屋学生チーム「鯨」のメンバーが、札幌の「YOSAKOIソーラン祭り」に参加した時の「こんなに楽しいお祭りを日本のど真ん中、名古屋



公益財団法人 につぽんど真ん中祭り文化財団
事業部
白山 智恵さん



8月23～26日にかけて、今年も名古屋で「につぽんど真ん中祭り」(どまつり)が開催されました。1999年に誕生し、現在では名古屋市内23会場で行われる大規模なイベントに成長しています。今回は、につぽんど真ん中祭り文化財団の白山智恵さんにどまつりへの想いをうかがいました。

でもやりたい!」という想いをカタチにしたイベントです。初開催のときは26チームが参加してくれましたが、おかげさまで現在は国内外含めて200チーム以上、参加者だけで2万人を越えるお祭りに成長してきました。

観客も220万人以上が集まり、日本全国の有名なお祭りにひけをとらないほどになりました。220万人以上が集まるお祭りは全国でも10個ほどしかないんですよ。そのひとつにどまつりが加わるなんて夢にも思っていませんでした。

ただ、どまつりが目指しているのはこの観客をゼロにすることなんです。観客ゼロなんておかしいですよ(笑) どまつりを観に来てくれたかたも、一緒に踊るかたも全員が“参加者”のお祭りしていきたいと考えています。

—どまつりの参加チームはさまざまなテーマを持っているようですが、どのようなルール、コンセプトがあるのですか？

白山さん：ルールは、どまつりのきっかけになった「YOSAKOIソーラン祭り」を参考にさせていただいています。地域の魅力を発掘してきてもらうこと、民謡の一節を取り入れた曲を使用することをルールにしています。「どまつり」の「ど」は“ど”真ん中と地域“土”着の“ど”なんです。

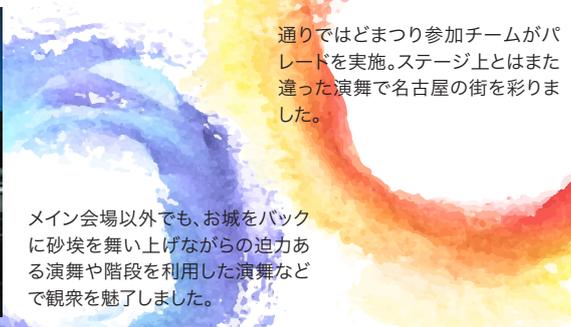
お祭りや民謡から、それぞれの地域の文化や歴史が感じ取れますよね。参加チームは「どまつり性」と「エンターテインメント性」で競っていただきます。どまつり性は地域の魅力が作った「素材」を発掘し、生かしたオリジナル作品を生み出したかが審査されます。

地域の有名な武将をモデルにしてもいいですし、伝統工芸を参考にしてもいい。それぞれの地域の“土”を日本のど真ん中まで自慢しに来て欲しいと考えています。しかし魅力的な地域は日本だけじゃありません。韓国など海外から参加してくれるチームも少しずつ増えています。

実は参加チームの中には新しく結成さ



真夏の名古屋×総踊り×ウォーターを掛け合わせて、今年初めて、「どまつり総踊りウォーターフェス」を開催！名古屋の蒸し暑い夏の暑さを吹き飛ばす楽しい総踊りのリズムと水しぶきで、爽やかに盛り上がりました。



©にっぽんど真ん中祭り

通りではどまつり参加チームがパレードを実施。ステージ上とはまた違った演舞で名古屋の街を彩りました。

メイン会場以外でも、お城をバックに砂埃を舞い上げながらの迫力ある演舞や階段を利用した演舞などで観衆を魅了しました。

れたチームも多いんです。大学のダンスサークルや地域・企業の同好会だけではなく、どまつりに参加するために有志が集まって新しくチームを作って参加するなど、新しいコミュニティも生まれているそうなんです。

どまつりは今年で20回を迎えることができましたが、50年構想を持って取り組んでいるのでまだ折り返し地点にも到達していません。これからの30年も全国各

地、世界各国の“土”やコミュニティを掘り起こすきっかけ、全員が参加者になれる場として、どまつりをみなさん共有の“世界”文化、歴史として想っていただけるように盛り上げていきたいです。

インタビュー所感

どまつりは名古屋が丸ごとお祭りになるような大規模で楽しいイベントでした。各会場では演舞が披露されているほか、通りではパレード、広場では観客も参加した“総踊り”。移動中のタクシーで運転手さんに「今日はこの“イベント”の取材に来たんですよ」と話したら「ああ、“どまつり”ね!良い感じで書いてね!」と言われて、地域の人も愛されているイベントだと実感できました。

EventData

- 第20回にっぽんど真ん中祭り
- 2018年8月23～26日
- 久屋大通公園(メイン)ほか、名古屋市内22会場
- 公益財団法人 にっぽんど真ん中祭り文化財団



REPORT 株式会社セレスポ 名古屋支店 林 真樹(はやしまき)

大好きな名古屋の街に全国、世界の人たちが集まってくれる

にっぽんど真ん中祭りは2005年、第7回から14年間関わらせていただいています。年々、参加チーム、観客、会場が増えていき、お祭りの規模が名古屋市全域に広がっています。参加チームは曲、衣装、振り付けなど、このお祭りのために一年かけて準備をし、観客もそんな参加チームの演舞を楽しみにしています。

主催の文化財団さまも毎年、いろいろなアイデアを出してくれます。みなさんの熱意やアイデアに応えられるよう、安全で楽しいステージ空間を提供することが私たちに求められている

こと。来場者、主催者双方の顔を思い浮かべながら思いやりを持って取り組むことが大事だと考えています。

イベントの仕事は自分次第でやりたいことができる魅力もあります。お客さまの熱意や想いを受け取って自分も同じ気持ちで仕事に臨むことで、周りにもそれが伝わって、必ず“みんな”で実現できると思っています。

どまつりは日本を代表するお祭りなので、全国、世界の人たちが集まってきてくれる。そんなお祭りが私の大好きな名古屋で行われてい



て、私も関わっていることはとても嬉しいです。来年は8月22日(木)～25日(日)開催予定です。是非、名古屋に!どまつりに!お越しください。生で迫力のあるどまつりを一緒に堪能しましょう。

セレスポ
Pick Up

2018 昭和記念公園 トライアスロンフェスティバル オールキッズトライアスロン大会 企業ボランティアに参加しました!



2018年9月9日に国営昭和記念公園(東京都立川市)にて2018昭和記念公園トライアスロンフェスティバル オールキッズトライアスロン大会が開催されました。この大会は公益社団法人日本トライアスロン連合が主催し、未来のトライアスリー

トを支援することを目的としており、セレスポでは昨年に引き続き運営ボランティアとして参加させていただき、今年も10名の社員がフィニッシュエリア、エイドステーションでお手伝いをさせていただきました。



©Satoshi TAKASAKI/JTU

今回はじめて参加しました。西東京支店の営業エリアである立川市は、多くのイベントで活気的ですが、昭和記念公園でトライアスロンを見たのは初めてでとても新鮮でした。弊社の社員がボランティアという立場で関わらせていただくのは、企業として非常に前向きな取り組みだと感じます。今後も他のイベント等でも、パートナーとして協力していきたいと思いました。

(西東京支店/黒津)



昨年に引き続き2回目の参加で、今年は給水所を担当しました。給水所に配った飲み物の紙コップ用のゴミ箱の設置場所について、ボランティア同士で意見を出しあって決定したりと、メンバーの力が集結されていました。私自身マラソンが好きで、頑張る子どもたちを見て応援にも力が入り、ボランティアも含めて大会を盛り上げることが出来たと感じました。

(経理部/久保田)



発行 発行日：平成30年9月25日

発行元 株式会社セレスポ (CERESPO CO.,LTD.)
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5 (本社)
TEL : 03(5974)1111 FAX : 03(5394)7651
<http://www.cerespo.co.jp/>

編集 山川 謙 (yawn)
記事 コーポレートデザイン室

デザイン 山本制作所
CERESPO NEWSに関するお問い合わせは
株式会社セレスポ コーポレートデザイン室(cd@cerespo.co.jp)まで

編集後記

「地元の魅力を全国に伝えたい」。そんな想いが前面に押し出された今回のメイン記事のどまつり。踊り手だけでなく、メイク、衣装、音楽、振り付け、地方車とチームを構成するありとあらゆるものの細部にまでこだわりぬいて創られた演舞が披露され、踊り手だけでなく、観客側も手に汗握り、その一瞬一瞬に魅了されているうちに、あっという間に4日間が幕を閉じました。

みんなで1つのモノを作り上げる“挑戦”には、大変なことも多いけれど、それ以上に楽しいことや感動することがあるんだろうなと実感しました。「観客動員ゼロ!!=全員参加型」がコンセプトの、誰でも主役になれるにつぼんど真ん中祭り、来年はぜひ参加してみたいと感じました。